

平成22年度「みんなの審査会(新さかい)」対象事業の市の方向性
(平成23年2月時点)

事業番号	⑤-2	事業名	環境技術実用化促進事業(バイオディーゼル燃料(BDF)実証実験事業)			
所管	環境	局	環境事業	部	資源循環推進	課
1. みんなの審査会でいただいた主な意見等						
(検討委員)						
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスモデルとしては、当初のコスト計算や堺市への還元、販売先の見通しが不明確で稚拙である。 ・BDFの利用先が市の収集車6台しかなく、事業として十分な検討がされず、開始されている。 ・この事業の優先順位は高いとはいえない。 ・事業実施による市への利益還元(メリット)が大きいとは考えにくい。 ・廃食用油のBDF化のコストを考え、事業を考えるべきである。 ・今後のBDF事業のあり方については、全市的に本格実施(ボランティアの協力が相当必要)か廃止かの二者択一しかない。一部地域で細々と事業を継続するのは一番良くない。 ・市としての事業は終了し、民間に任せるとよい。 ・この事業とは別に廃食用油の処理についてはその手法を考えるべきである。 						
(市民審査員)						
・今年で終了後、必ず廃食用油を活用できるよう方針をたてた上で運用する。						
評価結果	①市で実施 (現行どおり)	②市で実施 (強化・拡充)	③市で実施 (要改善)	④実施主体の 見直し	⑤事業は不要 (廃止)	
市民審査員	0人	0人	7人	4人	6人	
検討委員(参考)	0人	0人	0人	1人	4人	
2. 市の方向性	廃止					
3. 1の意見等を踏まえた市としての取組方針、見直し内容						
<p>市としての主体的なBDFの事業化検証事業は終了とするが、家庭廃食用油の資源化に自主的に取り組む世帯が多いこと、NPO法人の構築した回収ルートが効率的であること等から、NPO法人等を主体としたBDFを含む新たな資源化をめざす。</p> <p>この間、現行の取組を、減量化・資源化推進事業の一つとして継続する。</p>						
4. 平成23年度予算への反映状況						
	平成22年度当初予算	平成23年度査定額	増減額			
事業費	9,225千円	0千円	▲9,225千円			
5. 今後の取組予定						
平成22年度下半期	実証実験事業は廃止し、NPO法人等を主体とした事業への移行を図ることとし、この間、現行の取組を減量化・資源化推進事業の一つとして継続する。					
平成23年度	—					
平成24年度以降	—					